



取扱説明書

ポータブル動噴セット AS51TR-20

ご使用前に必ずお読みください
いつまでも大切に保管してください

はじめに

このたびは、本製品をお買いあげいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書は、安全で快適な作業を行なっていただくために、製品の正しい取扱い方法、簡単な点検及び手入れについて説明してあります。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただいて十分理解され、本製品がいつまでもすぐれた性能を発揮出来るようにこの冊子をご活用ください。

お読みになったあと必ず大切に保管し、本製品を末永く使用できますようにご活用ください。なお、より良い製品をご提供するために製品と本書の内容が一部異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。本製品についてお気づきの点がございましたら最寄の取扱店にお問い合わせください。

- 取扱説明書は大切に保管してください。
- 紛失した場合は最寄の取扱店にてお買い求めください。
- 本製品を改造することは、安全で快適な作業に支障をきたすだけでなく、大変危険ですのでおやめください。

■注意事項について

この取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱上の注意事項について、次のように表示しています。

- 危険** . . . もし警告に従わなかった場合、死亡又は重傷を負う事になるもの。
- 警告** . . . その警告に従わなかった場合、死亡又は重傷を負う可能性があるもの。
- 注意** . . . その警告に従わなかった場合、けがを負う可能性があるもの。
- 注意** . . . その警告に従わなかった場合、機械の損傷の可能性のあるもの。

■機械を他人に貸すとき、運転させるとき

事前に運転の仕方を教え、機械に貼ってある **!** (安全注意マーク) 印のついている警告ラベルも一枚ずつ説明してあげてください。

親切心が仇にならないように機械と一緒に取扱説明書・安全作業説明書を渡し、よく読んで理解し取扱方法を体得してから作業するように指導してください。

とくに禁止事項については念を入れて説明してください。

自分が使用するつもりで!



■国際単位について

本取扱説明書には、国際単位を表示しています。下記の換算数値を良く読んでご理解の上ご使用ください。

換 算 表

量	新計量法対応表示	換 算	従来の表示	備考
面 積	[m ²] (平方メートル)	10000[m ²]=1[ha]=100[a] =10反歩=3000坪	[a] (アール)、[ha] (ヘクタール) 坪、町歩、反歩	※①
回 転 速 度	[rpm] (回毎分) [min ⁻¹] (毎分)	1[min ⁻¹]=1[rpm]	[rpm]	※②
力	[N] (ニュートン)	9.8[N]=1[kg f]	[kg f] (重量キログラム)	
力のモーメント	[N・m] (ニュートンメートル)	9.8[N・m]=1[kg f・m]	[kg f・m]	
圧 力	[Pa] (パスカル) [N・m ²] (ニュートン毎平方メートル)	0.98[MPa]=10[kg f/cm ²] 9.8[Pa]=1[mmH ₂ O]	[kg f/cm ²] [mmH ₂ O]	
工 率 ・ 動 力	[W] (ワット)	735.5[W]=1[PS] 9.8[W]=1[kg f・m/s]	[PS] [kg f・m/s]	

※注意事項 ①土地面積については、[a]、[ha]を使用することがあります。

②単位時間における回転数については、「回転数」ではなく、「回転速度」と表示します。

目次

1.  安全に作業するために	3
ご使用時の注意	4
ご使用後の注意	5
ポジティブリスト制度について	6
2. 各部のなまえと操作部のはたらき	6
標準付属品のご確認	6
各部の名前	7
警告ラベルの取扱い	8
各部のはたらき	9
3. 取扱及び操作のしかた	10
組立／給油と始動	10
運転と停止	13
4. 清掃・整備・格納について	14
清掃と整備	14
水抜きと格納	15
5. 故障診断とその処置	16
6. 仕様	17
7. サービスと保証について	18

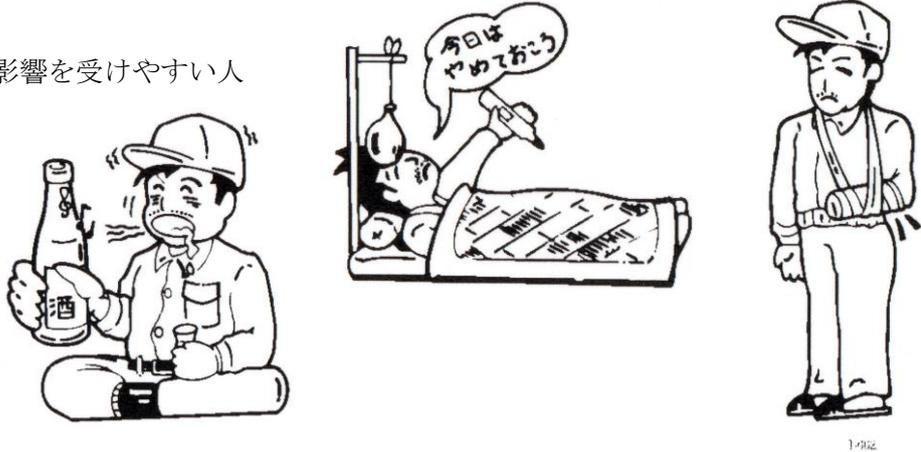
1. ⚠️安全に作業するために

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよく読んで正しい安全作業を行ってください。

「安全に作業していただくために、ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですがこれ以外にも本文の中で ⚠️危険・⚠️警告・⚠️注意・注意」としてそのつど取り上げています。」

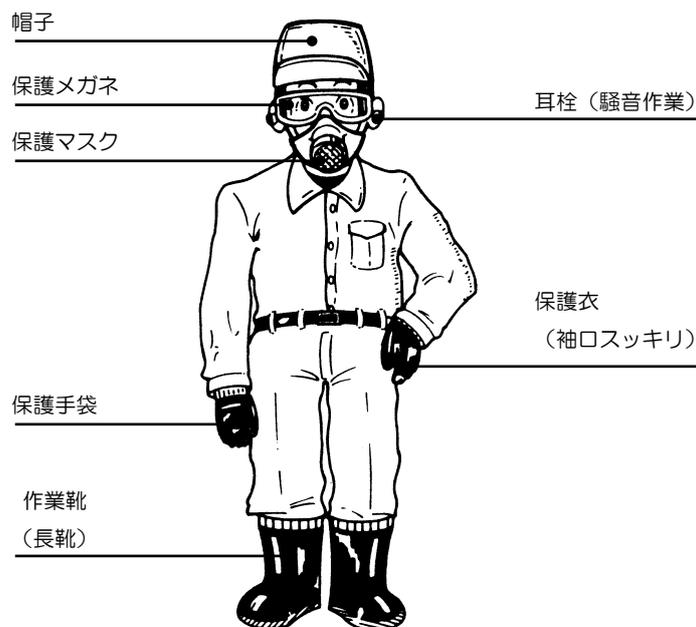
こんな人は、散布作業してはいけません

- 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により正常な作業ができない人
- 酒気をおびた人
- 妊娠している人
- 負傷中の人、農薬による影響を受けやすい人
- 未熟練者
- 16歳未満の人
- 作業員以外



作業に適した服装をします

- 作業に適し、体にあったものを着用してください。



保護具はつねに正常な機能を有する様、点検・整備を行い、正しく使用してください。

ご使用時の注意

使用用途

- 1) 一般畑作物の病害虫に対する薬液散布
- 2) 果樹一般の病害虫に対する薬液散布
- 3) ハウス栽培作物の病害虫に対する薬液散布
- 4) 花栽培作物の病害虫に対する薬液散布
- 5) 牧舎・鶏舎等への消毒液・殺虫液の散布
- 6) 庭木・盆栽・芝生の病害虫に対する薬液散布及び散水
- 7) 都市衛生用消毒液・殺虫液の散布
- 8) 公園等の花壇・街路樹の病害虫に対する薬液散布
- 9) 雑草防除に対する除草剤の散布
- 10) 野菜・根菜の洗浄及び散水

自動車などによる運搬時は機械が転倒しないような処置をしておきます

薬剤について

反当散布量や薬剤の種類をまちがえると、薬害をおこします。

- 薬剤は安全な場所に保管し、運搬するときは、袋が切れないように気をつけます。
- 使用済みの薬剤の袋・容器は害のないように処理します
- 薬剤の取扱いには十分注意し、万一目や口に入ったときは、すぐに水で洗い流します。体調に異常を感じたら直ちに医師の診断を受けてください。



- 風向きによって散布方法を変え、作業員や住宅等に影響が出ないようにしましょう。
- 薬剤散布は風上から風下に向かって作業しましょう。また、周辺の他作物、畜舎、養魚池、住宅に漂流飛散させないように配慮しましょう。

警告

- 薬剤散布は風上から風下に向かって作業しましょう。風下からの作業では薬剤を浴びることになります。
- 火災の恐れがありますので引火性の強い薬剤は使用しないでください。
- 動力噴霧器は重量物です。運搬時には、腰を痛めない様に十分注意してください。

燃料について

燃料は引火しやすいので、火災防止のため、次の事項を守ってください。

- 燃料の補給は必ずエンジンを停止し、冷えてから、行ってください。こぼした時はよく拭き取り乾かしてください。燃料に引火して火災の原因となります。
- 燃料補給タンクから 3m 以上離れて始動してください。

! 警告

燃料の補給や手入れをする時は火気を近づけないでください。

エンジンについて

- 換気の悪い場所での使用は避けてください。
- エンジンは運転中、停止直後は高温です。マフラー、シリンダーフィンなどに手を触れるとヤケドします。
- エンジンの運転中、スパークプラグにはさわらないでください。
- 設置した際に、排気方向は塞がないでください。排気ガスや蒸気熱により一酸化炭素中毒や火災の原因になります。
- トラックのあおりがマフラ排気口より高い場合にはあおりを倒してください。

! 警告

- 室内では運転しないでください、一酸化炭素中毒になります。
- エンジンの排気ガスは吸わないように注意してください。

ポンプについて

- ノズルから吐出する薬剤は高圧です。人に向かって吐出しないでください。
- エンジンを始動するときは、ノズルのバルブが確実に閉じていることを確認します。

ご使用後の注意

- 薬剤は、残さないように調合し、散布してください。
- 機械についての薬剤などもきれいに取り去ってください。発錆や故障の原因になります。
- 燃料は、全て抜き取ってください。

ポジティブリスト制度について

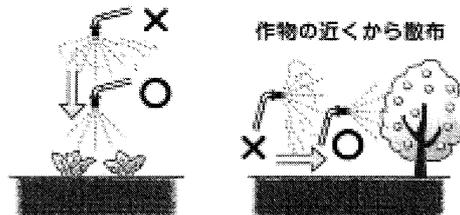
食品衛生法の農薬残留基準にポジティブリスト制度が導入されます。今まで残留基準値が決められていなかった農産物に一律の厳しい基準が設けられます。定められた基準を超えて農薬が残留する食品は販売等が禁止されるため、散布する薬剤が周りのほ場にドリフトしないよう、これまで以上に、ドリフト防止に気をつける必要があります。また、周辺ほ場へのドリフトが問題になるばかりではなく、ドリフトが周辺住民に迷惑をかけることもあります。さらに、湖沼などの水源へ混入すると環境破壊にもつながります。圏外へのドリフトを減らすことは様々な面から求められています。

ポジティブリスト制度とは？

食品衛生法に基づく残留基準値が設定されていない農薬等が一定量以上含まれる食品の販売等を原則禁止とする制度です。この一定量とは「人の健康を損なうおそれのない量として厚生労働大臣が定める量」として、原則0.01ppmとなっています。(いわゆる一律基準)

※散布しようとする作物以外に農薬がドリフトしないように細心の注意をして散布しましょう！

- 農薬散布時は必ず守りましょう。
 - ① 風の弱い時に散布します。
 - ② 散布の位置や方向に注意します。
 - ③ 適正なノズルを使い適正な圧力で散布します。
 - ④ 適正な量を散布します。
 - ⑤ 園地の端部では特に注意します。
 - ⑥ 薬剤タンクやホースをしっかりと洗浄します。



2. 各部の名前と操作部のはたらき

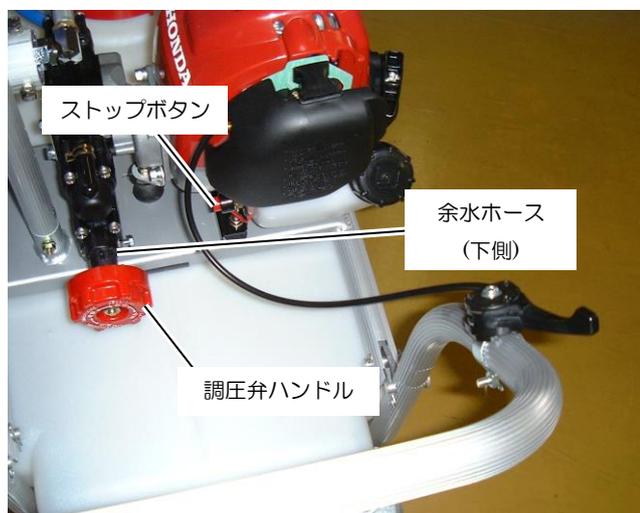
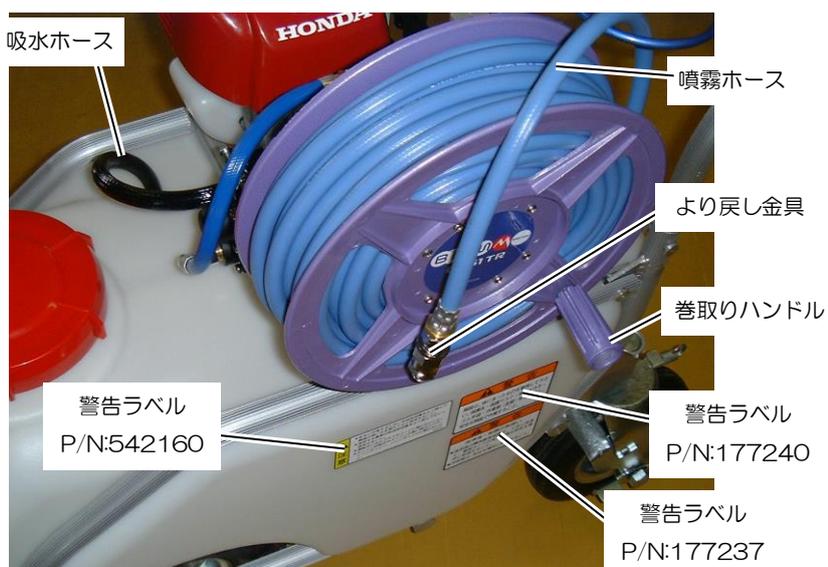
標準付属品のご確認

標準部品のご確認

梱包箱を開いたら、まず付属品が揃っているかどうか、確認してください。万一、付属品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにお買い求めの販売店にお申し出ください。

部品番号	名称	個数	サイズ及び備考
830048	ノズル組立	1	1. 4ペットズーム
549708	取扱説明書	1	本機
	取扱説明書	1	エンジン
	保証書	1	

各部の名前



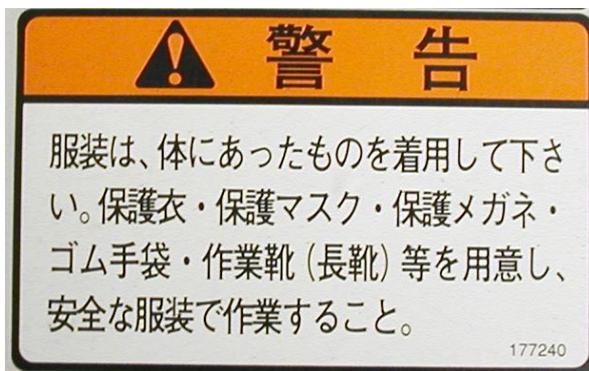
警告ラベルの取扱い

⚠ 注意

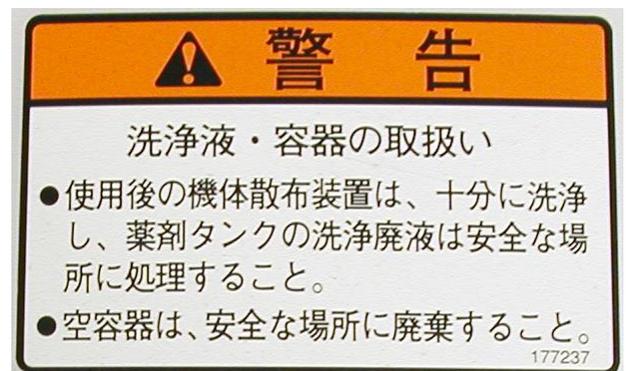
- ・いつも汚れや泥を取り、表示内容がハッキリと見えるようにしてください。
- ・警告ラベルが損傷したなら、新しいものと交換してください。
- ・警告ラベルを貼ってある部品を交換したときは、必ず新しい警告ラベルを、取り外した部品を同じ場所に貼ってください。

- 本機には、次の警告ラベルが貼ってあります。よく読んで理解した上で作業してください。下記にその内容を記載してありますのでよく読んでください。

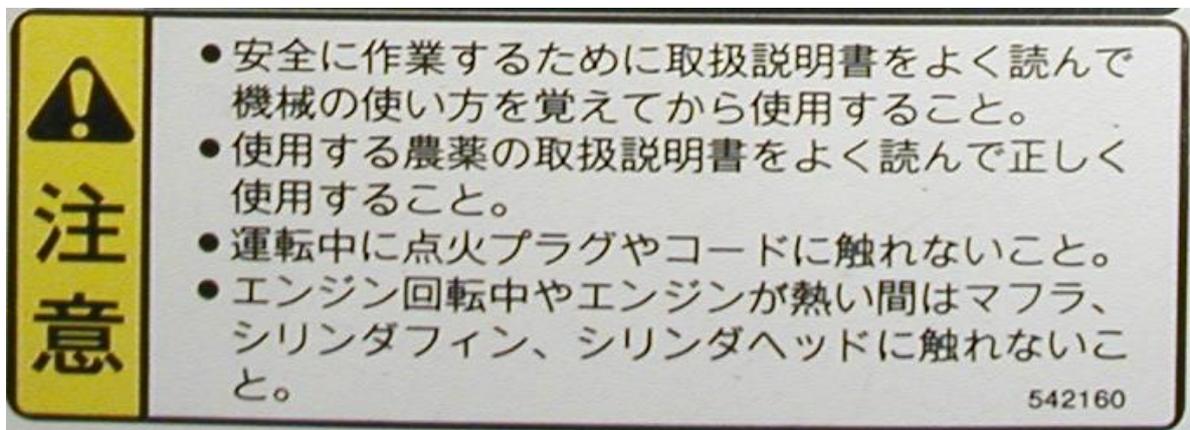
177240



177237



542160



各部のはたらき

①調圧弁ハンドル

ポンプの噴霧圧力は調圧弁ハンドルを回すことにより調整します。

始動位置

エンジン始動時及びポンプ吸水時に合わせます。

除草位置

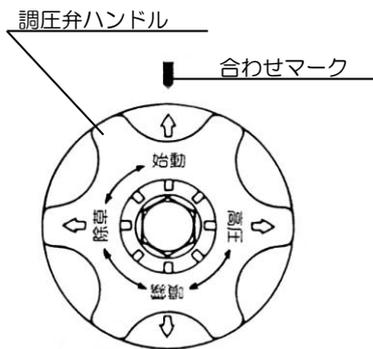
除草剤散布などの低圧で噴霧するときに合わせてます。

噴霧位置

通常の噴霧作業のときに合わせます。

高圧位置

高圧噴霧作業や噴霧ホースを長くして使用するときや細かい霧の散布をするときに合わせます。

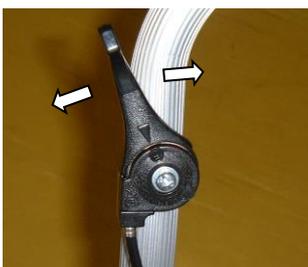


②スロットルレバー

エンジンの回転（ポンプの回転）を調整します。

注意

このポンプは遠心クラッチを使用しているため、クラッチがすべる低回転域で使用すると、クラッチの寿命が短くなる原因になります。（すべりによる異常振動がでる場合は調圧弁ハンドル位置・スロットルレバーとの組合せを調整します。）



②スロットルレバー



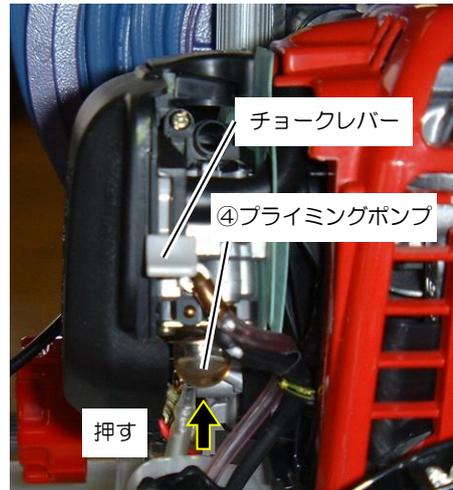
③ストップボタン

③ストップボタン

押し続けるとエンジンが停止します。

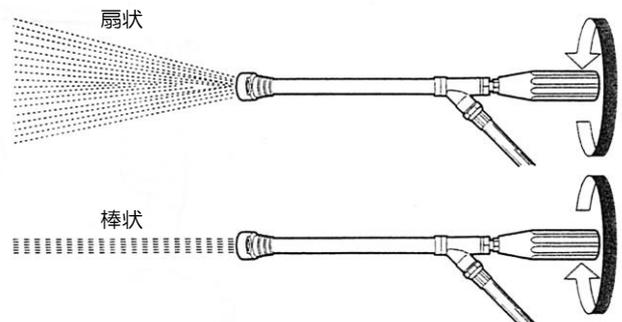
④プライミングポンプ

エンジンを始動するときを使用します。ポンピングすると気化器まで燃料が送られます。



⑤ノズル

ニギリを右に回すと扇状になり戻すと棒状の霧になります。



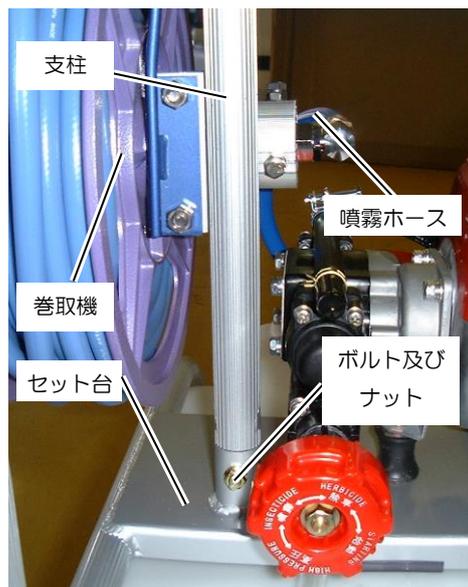
●本機を購入されて初めてご使用される場合は、以下の部分の組立を行ってください。

○巻取機の組立

- ①巻取機を保持している支柱をセット台の固定部に差し込み、ボルト及びナットで動かないようにしっかりと固定してください。
- ②噴霧ホースを巻取機と噴霧機の吐出口に確実に接続してください。

注意

確実に固定されていないとガタついて他部と接触して損傷する恐れがあります。

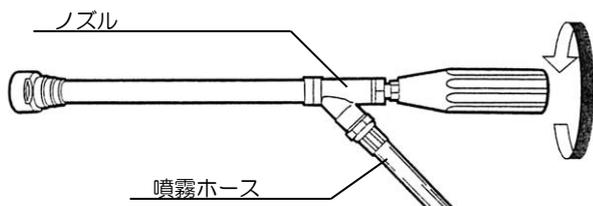
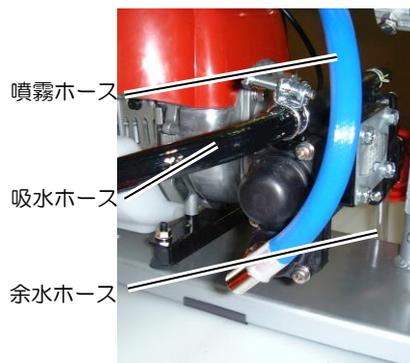


3. 取扱および操作のしかた

組立／給油と始動

組立

- 1. 機械各部のネジがゆるんでいないか点検します。
- 2. ホースの組立
 - ①吸水ホースのストレーナにゴミがついていないか、吸水口の接続が確実か確認します。
 - ②余水ホースが確実に接続されているか、折れ曲がりはないか確認します。
 - ③噴霧ホース、パッキンの破損がないか、吐出口に確実に接続されているか確認します。
 - ④噴霧ホースの先端にノズルを接続します。
ノズルの握りは確実に締め切っておきます。
- 3. 薬液槽に汚れやゴミがないか確かめて清水を入れておきます。
- 4. 薬剤タンクのふたをしっかりと閉めます。



給油

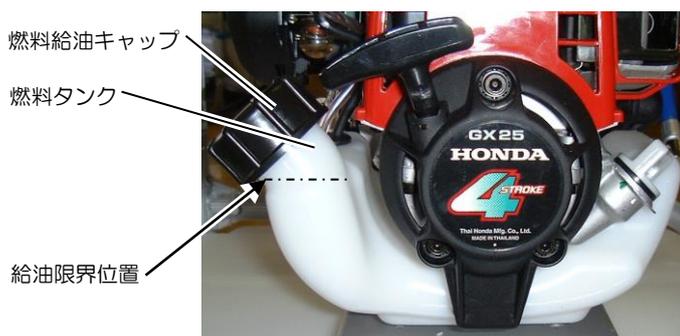
警告

ガソリンは非常に引火しやすく、気化したものは引火して爆発し死傷事故を引き起こすことがあります。

- 補給時にはエンジンを停止し火気を近づけないでください。
- こぼさないように補給してください。万一こぼれたときは布きれ等でよくふき取り、火災と環境に注意して処分してください。
- 注入口の口元まで入れずに給油限界位置を越えないように補給してください。入れすぎると給油キャップからにじみ出ることがあり危険です。

点検

燃料タンクの外側より液面の位置を確認し、燃料の量を点検します。少ない場合は平坦な場所で給油限界位置を越えないように補給してください。



補給

使用ガソリン：自動車用ガソリン

- 燃料給油キャップを少しゆるめ、燃料タンク内と外部の気圧差を取り除きます。給油キャップを外し、給油限界位置を越えないように補給します。
- 補給後、給油キャップを完全に締め付けてください。また、給油キャップ取付け部より燃料漏れがないことを確認してください。

【タンク容量】 0.55 L

注意

ガソリンにエンジンオイルを混合した、混合ガソリンを使用しないでください。本機に混合ガソリンを使用すると始動不良、出力低下、燃料系のつまりの原因となります。

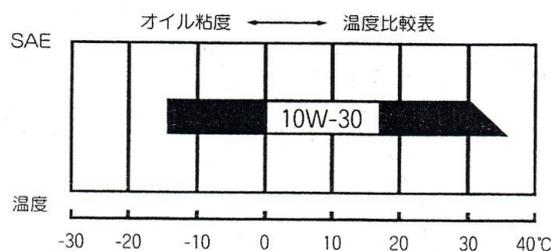
エンジンオイルの給油

エンジンを水平にし、オイル給油キャップを外し、注入口の口元までオイルがあるか点検してください。不足している場合は、新しいオイルを口元まで補給してください。

- 汚れや変色が著しい場合は交換してください。(交換時期、方法はエンジン取扱説明書を参照してください。)

【推奨オイル】 4サイクルガソリンエンジンオイル SE 級以上 SAE 10W-30 オイルをご使用ください。

【オイル容量】 0.08 L



注意

- エンジンを連続運転する場合、10時間毎にエンジンオイルの点検、補給を行ってください。
- エンジンオイルの補給はオイル容量が小さいため、少量に分けて注入してください。
- オイル給油キャップは確実に締めてください。締付けがゆるいとオイルが漏れることがあります。

始動

注意

エンジンを始動するときは、必ず薬液槽に水または、薬剤を入れます。
初めて始動するときは薬物の調合前に清水で運転して機械の調子を確認しておきます。

注意

ノズルはハンドルを時計方向に回し、噴霧停止の状態にします。

警告

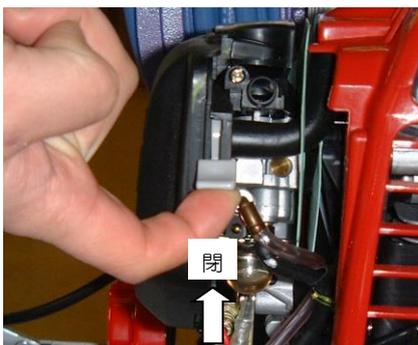
- 排気ガスは人体に有害です。換気の悪い場所での運転はしないでください。
- マフラー及び排気口付近に障害物や燃えやすいものがあると、発火するおそれがあります。駐車の際には十分注意してください。

- ①プライミング操作を行います。
キャブレターの下面に付いているプライミングポンプをゆっくり数回押し、ポンプ内に燃料（自動車用ガソリン）が充満し、タンクに戻るのを確認します。

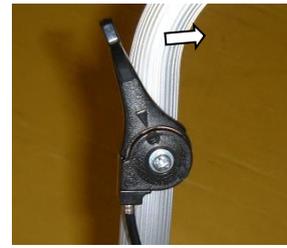


プライミングポンプ

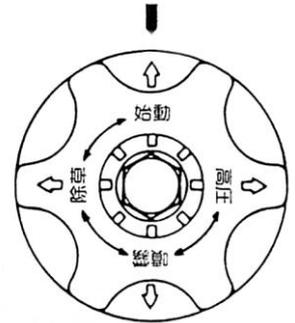
- ②チョークを全閉にします。
(酷暑時またはエンジンが温まっているときは、半開または全開とします。)



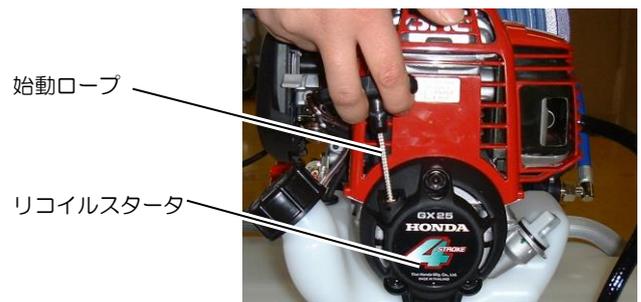
閉



- ④調圧弁ハンドルを「始動」の位置にします。



- ⑤エンジンを始動します
始動ロープを軽く2～3回引いた後、勢いよく引いて始動させます。



始動ロープの引きかた

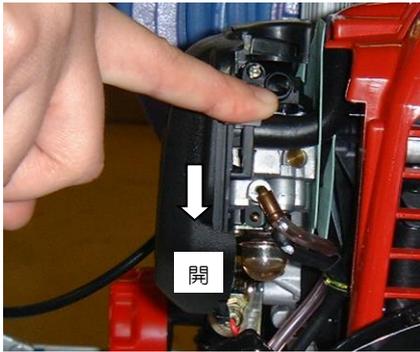
1. 始動ロープを右手で確実に握ります。
2. 左手でハンドルを押えます。
3. 始動ロープはゆっくり引きます。
4. 始動ロープはスタータの出入口とまっすぐになるように引きます。
5. 始動ロープは全部引ききらないようにします。
6. 始動ロープは引張ったまま手離さないで確実に元にもどします。

注意

繰り返しても始動しない場合は、チョークを全開にしてから始動ロープを引いて始動します。

※始動しない場合 16 ページ（故障診断とその処置：エンジン）を参照してください。

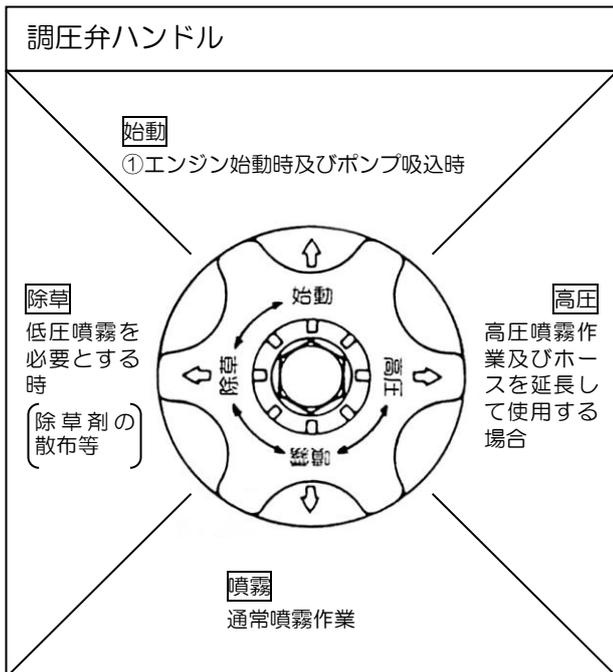
⑥始動後チョークを徐々に戻します。



運転と停止

運転

- ①調圧弁ハンドルを回して、除草、噴霧、高圧と作業条件にあった圧力の設定をします。
- ②霧の状態、機械の異常の有無を確かめたいうえ、スロットルレバーを高速位置にします。



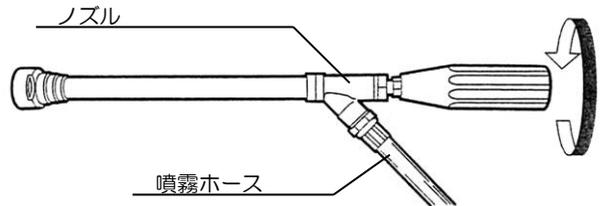
注意

- 調圧弁ハンドル「高圧」の位置でスロットル全開のまま調圧弁ハンドル「噴霧」「除草」としますと、圧力が低くなった分エンジンの回転が高くなりすぎますので、スロットル全開より若干戻した位置で使用してください。
- 空運転は水抜き以外しないでください。ピストンパッキンが損傷します。

③ノズルの握りを回して霧の状態を調節してください。(9ページ各部のはたらき⑤参照)

停止

①ノズルの握りを右に回して締め込んで噴霧を停止します。



②スロットルレバーを低速に戻します。



③ストップボタンを押してエンジンを停止します。

⚠注意

やけど防止のため、運転中及び停止直後はシリンダ、マフラカバー等の高温部にはさわらないでください。

4. 清掃・整備・格納について

清掃と整備

清掃・点検及び整備の時は必ず本機を停止してください。

エアクリーナ

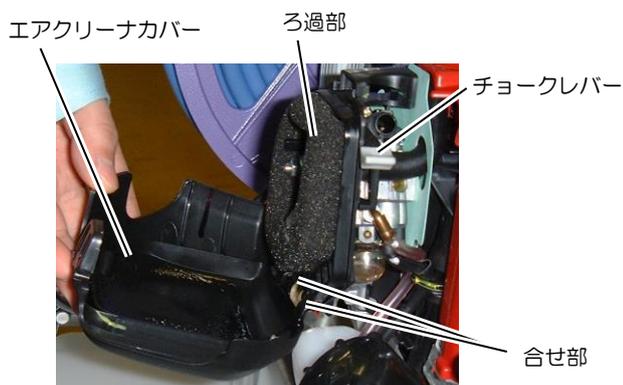
- エアクリーナのエレメントが汚れていると、エンジンの出力低下や始動不良をおこします。エレメントは時々清掃し、汚れを落とし、目づまりを防いでください。

⚠ 警告

- 洗剤は引火しやすいので、火気を近づけないでください。火災を起こす可能性があります。
- 清掃は換気のよい場所で行ってください。

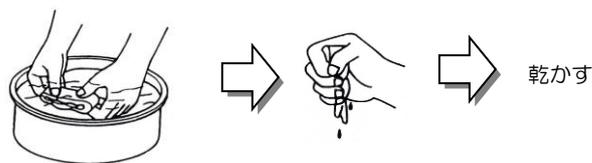
【清掃時期】… 3ヶ月毎または25時間運転毎
ほりの多い場所で使用した場合は10時間毎
または一日一回清掃してください。

- ①チョークレバーを上げます。
- ②エアクリーナカバーを開ける過部（ウレタン）を取外します。エアクリーナカバーの開け方はつめを横方向に押しながら上部を外した後、下部の合せ部を支点にして行います。
- ③ろ過部を洗い油または水で薄めた中性洗剤で洗いよく絞ってから乾かします。
- ④ろ過部、エアクリーナカバーを取付けます。エアクリーナカバーは、下部の2ヶ所の合せ部を支点にして閉じ、上部のつめを確実に組付ます。



洗い油または水で薄めた中性洗剤で洗う

固く絞る



エンジンオイルに浸す

軽く絞る



注意

- エアクリーナを外した状態でエンジンを運転しないでください。エンジンの寿命を縮める原因になります。
- オイルをつけすぎないように注意してください。

エンジンオイル

- エンジンオイルが汚れていると摺動部や回転部の寿命を著しく縮めます。交換時期、オイル容量を守りましょう。

⚠ 注意

- エンジン停止直後はエンジン本体の温度や油温が高くなっています。十分に冷えてからオイル交換を行ってください。やけどをする恐れがあります。

【交換時期】… 初回:1ヶ月または10時間運転後
以後:6ヶ月または50時間運転毎

【推奨オイル】4サイクルガソリンエンジンオイル
SE級以上 SAE 10W-30 オイルをご使用ください。

- ①燃料給油キャップが締付けられていることを確認します。
- ②オイル給油キャップを外し、市販のポリボトル又はスポイトを購入します。細い注ぎ口を注油口に差し込み抜きます。
- ③エンジンを水平にし、注入口の口元まで新しいオイルを注入します。



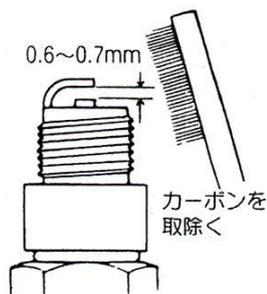
④注入後、オイル給油キャップをゆるまないように確実に締付けます。

注意

- 交換後のエンジンオイルはゴミの中や地面、排水溝等に捨てないでください。オイルの処理方法は法令で義務付けられています。法令に従い適正に処理してください。不明な点はオイルをお買い上げになったお店にご相談のうえ処理してください。
- オイル給油キャップは確実に締付けてください。締付けがゆるいとオイルが漏れることがあります。
- オイルは使用しなくても自然に劣化します。定期的に点検、交換を行ってください。

点火プラグ

- カーボンを取除き間隙を 0.6~0.7 mm に調節します。



035-17

注意

- エンジン停止直後のマフラーや点火プラグなどは非常に熱くなっています。やけどをしないように作業はエンジンが冷えてから行ってください。

水抜きと格納

ポンプ

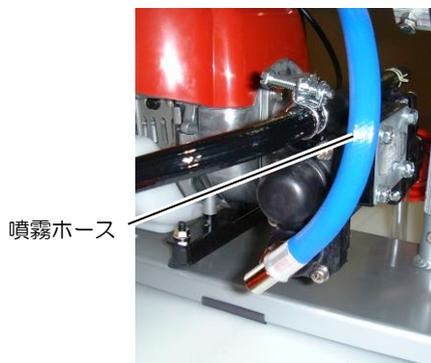
- ①薬液槽に清水をいれ、エンジンを始動します。
 - ②ノズルより噴霧させ、ポンプやホース内を洗浄します。
- ※異常があった場合は最寄の取扱店にご相談ください。

水抜き

注意

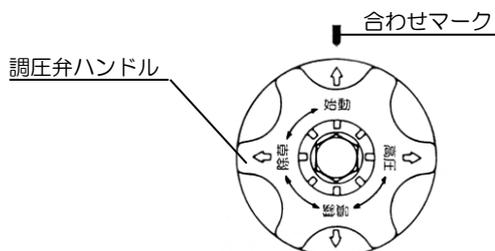
水抜きは必ず行なってください。冬季凍結によりポンプを破損することがあります。

- ①薬剤タンク内の残液を下部のドレンから抜きます。
- ②調圧弁ハンドルを「始動」の位置に戻します。
- ③スロットルレバーを全開より若干戻した位置で 15~20 秒運転し残液を抜きます。
- ④スロットルレバーを低速にしてストップボタンにてエンジンを止めます。



格納

- ①調圧弁ハンドルを「始動」の位置にします。
- ②燃料タンクの燃料（自動車用ガソリン）を抜きアイドリングでエンジンが自然に止まるまで運転します。
(高速回転させるとピストンパッキン、シールパッキンをいためます。)



③スロットルレバーを低速の位置にします。



④以上のことを済ませたら、湿気の少ない風通しのよい場所に保管します。

注意

- 損傷箇所のある場合は、修理してから格納してください。この場合、部品、消耗品はすべて、当社指定の純正部品をご使用ください。
- 保管は湿気の少ない場所でチリやゴミが付着しないようにしてください。

5. 故障診断とその処置

- ポンプ、エンジンの調子が不良の場合は次の内容が考えられます。
- ☆印については最寄の取扱店に調整、修理を依頼してください。

ポンプ

現象	原因	処置	
吸水しない。	(1) 吸水ホースの接続部のゆるみ。 (2) 吸水ストレーナが薬剤でつまる。 (3) ピストンパッキンの磨耗。 (4) 弁部に異物。	(1) 充分締付ける。 (2) 分解掃除。 (3) 新品と交換。 (4) 分解掃除。	☆☆☆☆
圧力が上がらない。 (噴霧状態が悪い)	(1) ピストンパッキンの磨耗。 (2) シリンダ内面にキズ。 (3) 吐出弁にキズ。 (4) 調圧弁座の磨耗。 (5) 各弁部に異物。 (6) カムハンドルの磨耗。 (7) ノズル穴の磨耗。 (8) ノズル使用数の過多。	(1) 新品と交換。 (2) 新品と交換。 (3) 新品と交換。 (4) 新品と交換。 (5) 分解掃除。 (6) 新品と交換。 (7) 新品と交換。 (8) ノズル数を少なくするか穴径の小さいノズルを交換する。	☆☆☆☆☆

エンジン

現象	原因	処置	
始動しない	● 燃料切れ ● 燃料フィルタ目づまり ● 始動操作ミス ● 点火プラグ不良 ● マグネット不良 ● キャブレタ不良	● 燃料補給 ● 清掃 ● エンジンの始動の項参照 ● 点検、清掃、交換 ● 交換 ● 点検、清掃	☆☆☆☆
出力不足	● スロットルワイヤ調節不良 ● エアクリーナエレメント目づまり ● 排気ポート、マフラにカーボン堆積	● 調節 ● 清掃 ● 清掃	☆☆☆
振動が大きくなる	● 各部のゆるみ	● 増締	☆
排気温が大きくなる	● マフラ及びマフラカバーのゆるみ	● 増締	

6. 仕様

AS51TR-20 仕様		
寸法 機体	機高 (mm)	850
	機幅 (mm)	515
	機長 (mm)	865
乾燥質量 (kgf)		28
噴霧機	型式	水平対向 2 連ユニフロー式
	吸水量 (L/min)	7.1
	回転数 (min ⁻¹)	1825
	圧力 (Mpa)	1.0:2.5:3.5
エンジン	型式	GX25
	型式	強制空冷 4 サイクル
	排気量 (mL)	25
	最大出力 (kW/min ⁻¹)	0.81/7000
	燃料	自動車用ガソリン
	点火方式	電子点火 (トランジスタマグネ)
	点火プラグ	NGK CM5H, CMR5H
	始動方式	リコイルスタータ
	燃料タンク容量 (L)	0.55
	潤滑油量 (L)	0.08

- 改良のため予告なく仕様を変更することがあります。

7. サービスと保証について

■保証について

保証期間、保証内容は保証書に記載されています。保証書を読んで確認してください。

保証書はお客様が保証期間中に保証修理を受けるときに、ご提示いただくものです。お読みになられた後は大切に保管してください。

製品を改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合や、使用上の誤りは、メーカーの保証対象外になりますので、ご注意下さい。

■アフターサービスについて

○始業点検時や使用中に不具合が発見された場合は、故障と対策を見て適切な処置を取ってください。
分からない場合は、最寄の取扱店にご相談ください。

○連絡していただく内容

●機種名 ●製造番号 ●故障内容

なにが・どうしたら・どんな状態で・どうなったかを詳しくお話してください。

○本製品を安全にご使用いただくには、正しい操作と定期的な整備が不可欠です。
年に一度は、最寄の取扱店に、点検整備をお願いしてください。

この時の整備は有料となります。

■補修部品の供給年限について

本製品の補修部品の供給年限は、本製品の製造打ち切り後9年です。但し、供給年限内であっても、特殊部品については納期等をご相談させていただく場合があります。補修用部品の供給は、原則的

には、上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格についてご相談させていただきます。

販売元 **アーランドサカモト (株)**
〒955-8501 新潟県三条市大字上須頃 445 番地 TEL0256(33)6021 (代表)

製造元： **株式会社 丸山製作所**
本社 〒101-0047 東京都千代田区内神田 3-4-15 TEL03(3252)2281

＜丸山サポートセンター＞無料通話 0120-898-114